



春江だより

12月号

令和7年11月29日
江戸川区立春江小学校

心を一つに 音楽会

校長 小林 麻子

日暮れの早さに冬の到来を感じるようになりました。早いもので今年も1か月を残すのみとなりました。

11月29日の音楽会では、多くの保護者・地域の皆様にご参観いただき、大変ありがとうございました。今年は保護者鑑賞日の人数制限は設けず、鑑賞学年の保護者の方に優先席で見ていただくという方法で行いました。そして全学年の児童の発表を見ていただけるようにしました。譲り合って鑑賞していただき、ありがとうございました。

さて、音楽会までの取組は、60周年記念式典が終わったと同時に始まりました。合奏では、曲想をつかみ、楽譜を読んで、自身の担当楽器の練習に入りました。休み時間に教室をのぞくと楽譜を見て必死に指使いに気を付けながら練習している児童がいました。合唱では、歌詞をしっかりと覚え、響く声を目指して練習していました。体育館での学年練習が始まると、体育館に向かう子供たちの表情が徐々に引き締まっていきました。そして、合唱や合奏のスピードが合わなかったり、声の大きさが届かなかったりなどのたくさんの課題に必死に取り組み、乗り越えてきました。この音楽会では、「見てくれた人 全員とつながろう」というスローガンのもと、「一人一人が自分の目標に向かって努力すること」「互いに協力し合うこと」を意識して取り組んできました。表現する側が、心を一つに、そして見てくださっている方とつながることのできる音楽会を目指し、そして、本日を迎えることができました。

100人前後の子供たちが奏でたハーモニーが、体育館いっぱいに広がった音楽会となりました。緊張を乗り越え、力を発揮した達成感と、友達と協力して成し遂げた充実感をこれからの生活に生かし、さらなる成長につないでいきます。

人権週間について

12月4日から10日まで人権週間です。この期間に人権意識の高揚を図り人権を尊重する意識をもたせる取り組みをします。本校では学期に1回人権についての取組を行っています。2学期は、本を活用し、発達段階に応じて人権の意義や重要性について、正しい知識を身に付けます。本校では今年度、柿の木プロジェクトを通して、平和について考え、自分も相手も大切にすることの重要性を学んでいます。

11月はふれあい月間でした。朝会での講話、いじめ防止授業、児童アンケート、教員研修など、いじめについても同様に人権意識をもって取り組みました。「いじめが起きない、起こさない学校」であるために、教員も日々研修を重ね、家庭・地域のご理解とご協力を得ながら子供たちと共に「人権感覚」を研ぎ澄まさせてまいります。

開校60周年記念 バルーンリリース

11月12日の午後、校庭に色とりどりの風船を手を持った子供たちでいっぱいになりました。開校60周年記念行事として、子供たちのお祝いの気持ちと未来への思いをのせて、カウントダウン「3、2、1」で一斉に700個以上のバルーンが空高く舞い上がりました。子供たちは、その様子を歓声を上げながら眺めていました。開校60周年の思い出がまた一つ増えました。すべての関係者の皆様に感謝申し上げます。